



文系・未経験でも AIで"作れる人材"へ

Vibe Coding Bootcamp — AIリスキリング研修 ご提案資料

Presented by



Training Partner

×



CONFIDENTIAL

株式会社CBIT

本資料の構成

PART 1	課題の現状
PART 2	解決策のご提案
PART 3	具体的なサービス内容
PART 4	料金体系・助成金シミュレーション
PART 5	競合比較・差別化ポイント
PART 6	導入後の全プロセス
PART 7	実績・事例
PART 8	クロージング

労働市場の現状と課題

深刻な「人材不足」と「生産性低下」の二重苦

実務実装スキルの欠如が、日本の労働生産性を押し下げている現状があります



2030年 IT人材不足予測

最大59万人

構造的な供給不足が深刻化。
需要拡大に対し、従来の人材供給モデルでは
限界に達しており、外部からの調達が困難な
時代に突入しています。



日本の労働生産性 (OECD)

30位/38カ国

先進国でも最低水準の低迷。
「個人の労働価値」が向上しておらず、テク
ノロジーを活用した付加価値の創出が急務と
なっています。



既存能力開発の弱点

**実務実装力
の欠如**

形式的な知識学習や資格取得に留まり、自ら
現場課題を発見し、ツールとして解決策を構
築できる「創出型人材」が育っていません。

既存アプローチが抱える「3つの構造的弱点」

従来型の研修や外部委託では、本質的な生産性向上や組織の自走化は実現できません



問題 01

資格偏重による 実務実装力の欠如

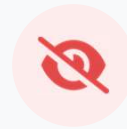
形式的な知識学習や資格取得に留まり、「現場で使えるもの」を生み出せません。自ら現場課題を発見し、解決策を実装できる「創出型人材」が育たない構造になっています。



問題 02

外注ループによる 永続的なコスト増

「プロに任せた方が速い」と外部ベンダーに頼り続けることで、社内にノウハウが蓄積されません。改修のたびに見積もりが発生し、依存度が深まる「ベンダーロックイン」に陥ります。



問題 03

投資対効果（ROI）の 不透明さ

eラーニングや座学研修を実施しても、それが具体的にどの程度の業務効率化や利益に繋がったかが見えにくく、一人当たり数十万円の研修費用の効果が証明できません。

企業が抱える4つの導入障壁

人材育成の必要性は理解していても、効果やコストへの懸念から導入が進まない実態があります



01

実務に使える

「座学や資格取得だけでは意味がない」

学習だけで終わり、現場での実装力が身につかないことへの懸念。



02

安価な外注で賄える

「プロに任せた方が安くて速い」

一時的なコスト比較で判断し、内製化による資産蓄積の必要性を感じていない。



03

成果が見えない

「投資対効果が不明確」

研修を実施しても、それが具体的にどの程度の利益や生産性向上に繋がるか見えにくい。



04

費用がかさむ

「研修コストが高い」

効果が保証されない中で、一人当たり数十万円規模の予算を確保することへの心理的ハードル。

▲ 結果：外注依存から抜け出せず、ノウハウが蓄積されない（組織の競争力が低下し続ける）

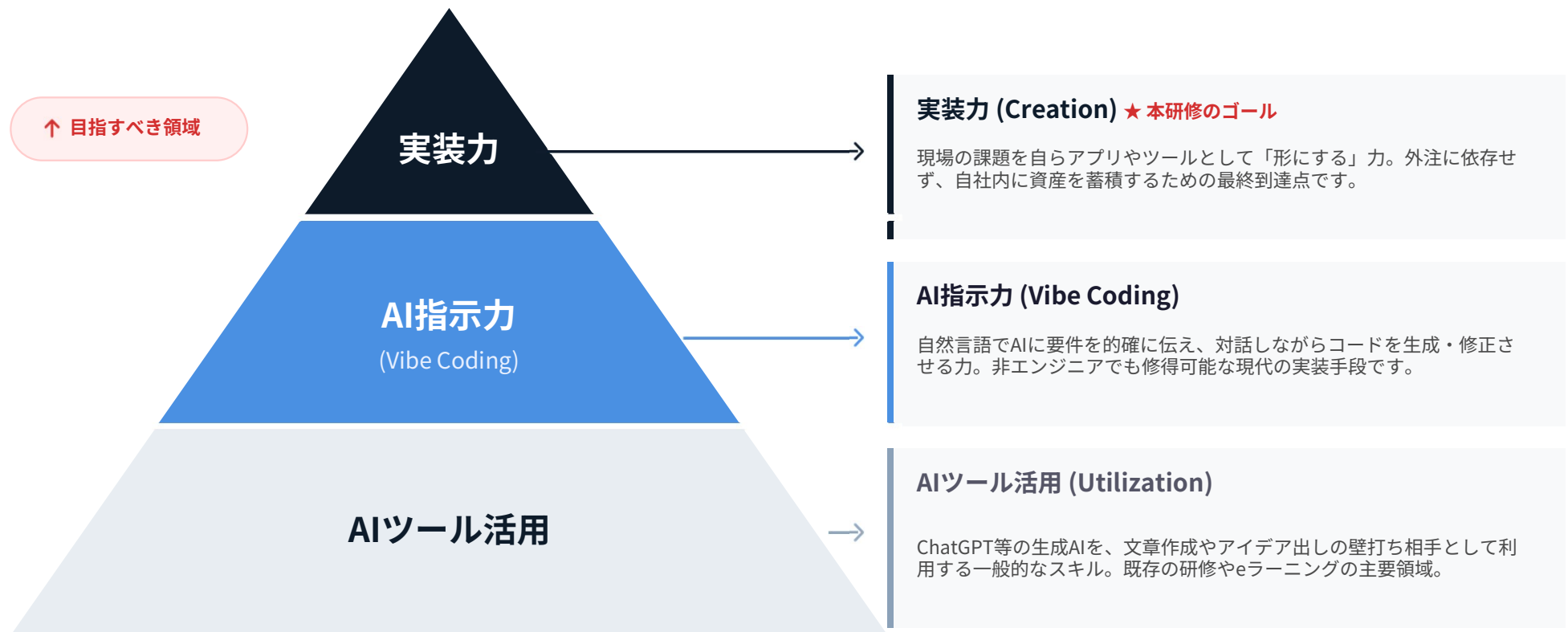
解決策のご提案

「コードの書き方」ではなく、「自社課題の解決」にフォーカスする

比較項目	従来のIT・AI研修	Vibe Coding Bootcamp
テーマ	架空のECサイト作成	自社の業務効率化ツール
ゴール	コードの書き方を学ぶ	実務課題を解決する
成果物	提出して終わり	翌日から現場で運用

AIスキル3層モデル

ツールを使うだけの段階から、自ら課題を「実装」できる段階へ。Vibe Codingは非エンジニアを最上層へ引き上げます。



Vibe Codingの定義と実践3ステップ

WHAT IS VIBE CODING?



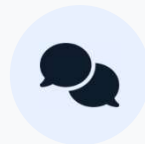
非エンジニアがAI指示力を駆使し、「自社のリアルな課題」を解決するツールを、その手で作り切る実践的スキルです。



STEP 01

現場の「不」を発見

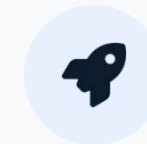
「この転記作業、無駄だな」「このデータがすぐ見れたらな」という、身近で切実な業務課題を特定します。



STEP 02

AIと対話して実装

自然言語で要件を伝え、AIにコードを書かせます。エラーが出て、AIと共に解決策を探りながら完成させます。



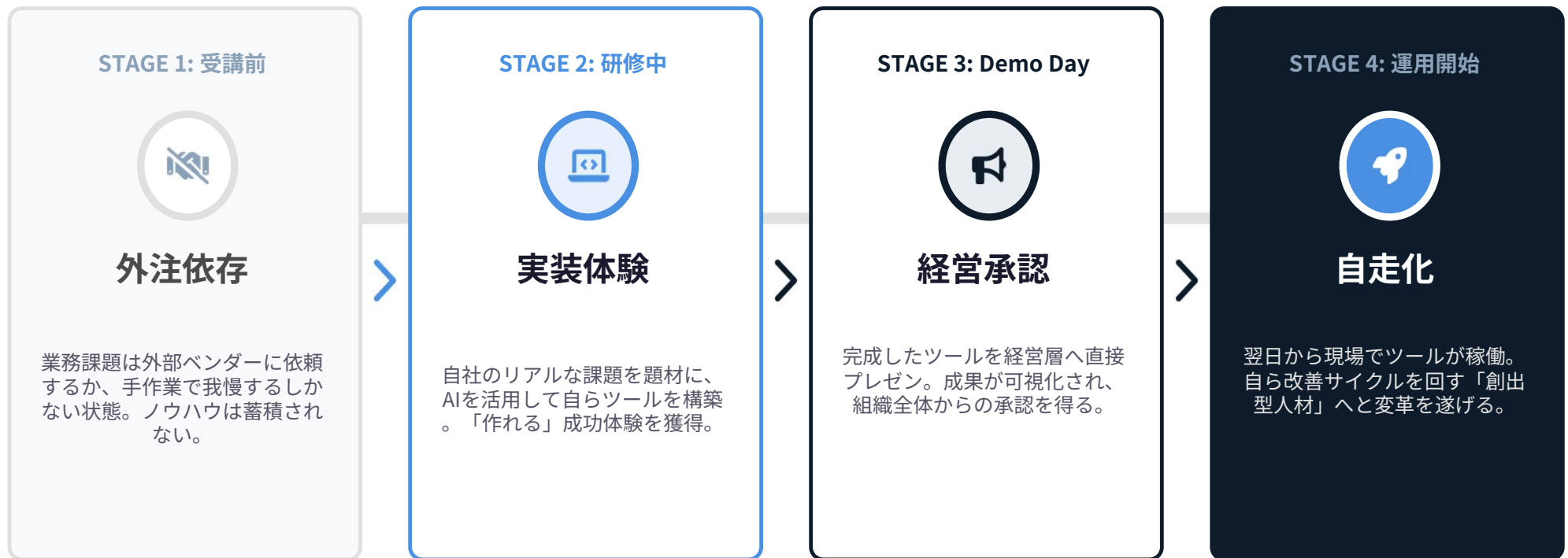
STEP 03

業務へ即時導入

完成したその日から現場で運用開始。自分たちが使うツールだからこそ、継続的な改善サイクルが回ります。

研修後の変化ジャーニー

単なるスキル習得にとどまらず、組織全体の「文化変革」と「自走化」をもたらします。



具体的なサービス内容

プラン概要

「まずは小さく試したい」から「本格的に組織を変革したい」まで、2つのプランをご用意しています

比較項目	プランA (16時間 Bootcamp App)	プランB (30時間 Bootcamp Tool)
時間	16時間（4時間×4日）	30時間（3時間×10日）
形式	ブートキャンプ	ブートキャンプ
対象	✓ 本格的に「作れる人材」を育成し、組織を変革したい企業 ✓ AI・ITリテラシーがある程度ある方向け	✓ AIリテラシーを高め、ツール作成など小さく実践を試したい企業 ✓ AI・ITリテラシーが低い方～AIツールを使った事がある方向け
成果物	実務で使えるWebアプリ	実務で使えるツール
サポート体制	💬 日次Slack無制限Q&A 👥 Demo Day伴走サポート	💬 期間中Slack Q&A
定価	500,000円 /人	410,000円 /人

※ 上記は定価です。助成金活用時の実質負担額や大手企業向け価格については、「料金体系・助成金シミュレーション」のセクションをご参照ください。

受講前確認チェックリスト | 全プラン共通

研修を円滑に開始いただくため、以下の環境要件と事前手続きを必ずご確認ください。

PCスペック

Windows 10以上 または
macOS 13以上

RAM 8GB以上

SSD推奨

Webカメラ・マイク必須

ネットワーク

推奨：下り・上り 20Mbps以上

有線LAN接続を推奨

Wi-Fiの場合は5GHz帯を使用

テザリング非推奨

ツール・アカウント

Zoom または Google Meet 利用可
能な環境

GitHubアカウント

Supabase・Vercel・Claudeアカウ
ント

Chrome バージョン90以上

受講場所

静かな個室またはブース

機密情報が背景に映り込まない場所

ヘッドセット着用推奨

オープンオフィスでの単独参加は
非推奨

事前手続き

GitHubアカウント作成
(研修開始2週間前)

Supabase・Vercel・Claudeアカウ
ント作成

IT部門へのポート開放・サービス
利用申請 (2週間前)

出席率80%以上が助成金適用の必
須条件

研修中の録画・スクリーンショッ
ト禁止

 企業ネットワークからGitHub・Supabase・Vercelへのアクセスが可能かどうか、研修開始2週間前までにIT部門へ必ずご確認ください。

プランA詳細 (16時間 Bootcamp App)

16時間の集中開発で、実務で使えるアプリを実装するプラン

スペック早見表

期間・時間

1ヶ月間 (全16時間)

週4時間 × 4週間

受講形式

完全オンライン

最終成果物

動作するWebアプリ

現場の課題を解決するプロトタイプ

サポート体制

Slack無制限 & コードレビュー

メンターが期間中毎日伴走

最終ゴール

経営層へのDemo Day

こんなニーズや課題をお持ちの企業様にご活用いただいています

- ✓ WEB・LP修正 文字変更、画像差し替え、ボタン追加、問い合わせ導線の改善をAIでできるようにしたい企業様
- ✓ 営業資料・LP構成・広告文・Canva用の指示、制作会社への依頼を自社で作成できるようにしたい企業様
- ✓ 日程集計、問い合わせ分類、フォーム設計、LINE配信案、表計算関数の整理をしたい企業様
- ✓ 最新のAIやClaude Cde Codexを本質的に学ばせたい企業様

プランAの2つの価値

- 1 実務で使える成果物を「16時間」で実装**
架空の課題ではなく自社の業務効率化ツールを自作し、研修終了の翌日から現場で運用を開始できます。
- 2 挫折させない「日次Slackサポート」と伴走体制**
開発中の技術的なエラーから設計相談まで、専門メンターが毎日無制限で対応し、実装の壁を取り除きます。

プランA カリキュラム週次構成

16時間の集中プログラムを通じ、基礎から最終的な実務ツールの完成までを一気通貫で伴走します。



プランA | 受講環境要件

ブートキャンプ（16時間）を円滑に受講いただくための必須環境をご案内します。

PC要件

OS：Windows 10以上 / macOS 13以上

RAM：8GB以上（16GB推奨）

ストレージ：SSD推奨（空き容量10GB以上）

Webカメラ：必須

マイク：必須（ヘッドセット推奨）

ネットワーク要件

推奨速度：下り・上り各20Mbps以上

有線LAN接続を推奨

Wi-Fiの場合：5GHz帯を使用

テザリング：非推奨

企業ネットワーク：GitHub・Supabase・Vercel
へのアクセス可否をIT部門に確認

ツール・環境要件

Zoom または Google Meet（ライブ授業）

GitHub Codespaces
（ブラウザで開発）

Supabase・Vercel・Claude
（無料プラン可）

Chrome バージョン90以上

静かな個室またはブース環境

 出席率80%以上が人材開発支援助成金の適用条件です。欠席が見込まれる場合は事前にご相談ください。

プランA | 研修事例（フルスタック開発）

16時間のブートキャンプで、実務に直結するシステムを構築・内製化した事例をご紹介します。

製造業

品質検査記録システム

⚠ 課題

手作業による記録に月30時間を消費。
外部システム費用200万円/年が発生。

💡 成果

記録業務をほぼゼロに削減。
外注費200万円/年 → 社内ゼロコストに。

✔ 工数90%削減、品質異常の検知速度2週間 → 即時へ

建設業

現場日報デジタル化

⚠ 課題

紙ベースの日報作成に月20時間以上を消費。
SaaS費5,000円/月が継続発生。

💡 成果

報告業務を月20時間以上削減。
SaaS費 → カスタムツールでゼロコストに。

✔ 日報処理時間70%削減、工程遅延の早期検知率向上

物流業

配送追跡自動化

⚠ 課題

配送受領書のサイン・GPS記録を手作業で管理。
SaaS費月15,000円が発生。

💡 成果

受領・GPS記録を完全自動化。
SaaS比較で月15,000円のコスト削減。

✔ 自社人材のみで保守・アップデート・機能追加が可能に。

プランB詳細 (30時間 Bootcamp Tool)

時間的負担を抑え、まずは小さく実践を試せる短期集中業務ツール作成プラン

スペック早見表

期間・時間

1ヶ月間 (全30時間 3時間×10日)

現場の負担を抑えたスケジュール設定

受講形式

完全オンライン

最終成果物

業務ツール

実務適用の初期検証モデルとして活用可能

サポート体制

期間中Slack Q&A

疑問点を残さず学習を進められる環境

最終ゴール

プロトタイプ完成による実現性検証

こんなニーズや課題をお持ちの企業様にご活用いただいています

- ✓ AIリテラシーの低い方から少し活用している方向けに基礎を学ばせたい企業様
- ✓ 最新のAIやClaude Cde Codexを本質的に学びたい企業様
- ✓ **自社のAIツールを使えるようにしたい企業様**やAIツールを使用し、事業展開を計画したい企業様
- ✓ 本格導入の前に、まずはスモールスタートでAIによる業務課題解決の可能性を検証したい企業様

プランBの3つの特徴

- 1 時間的負担を抑えた30時間の短期集中プログラム**
通常業務との両立を考慮し、最低限必要なコアスキルに絞って効率よく実践力を身につけます。
- 2 疑問を残さない期間中のSlack Q&Aサポート**
学習中や実装中に発生した疑問点は、Slackを通じていつでも専門メンターに質問し解決できます。
- 3 スモールスタートに最適な「業務ツール」開発**
完全なアプリではなく、コア機能に絞った業務ツールを作成することで、費用対効果の早期検証が可能です。

プランB | カリキュラム週次構成

全30時間のプログラムを通じ、実務で使えるツールの完成と自走力の習得を目指します。

Week 1 (6h)	Week 2 (9h)	Week 3 (9h)	Week 4 (6h)
🚩 テーマ AIツール概要 & 開発環境構築 📋 主なトピック - Cursor / Claude Code入門 - プロンプト設計基礎 (ビジネス文脈) - 初回アプリ体験 📦 成果物 動作確認できる最初のアプリ (Hello Worldレベル)	🚩 テーマ ノーコード開発基礎 & DB設計 📋 主なトピック - Supabase基礎 - 業務データのテーブル設計 - CRUD操作 (作成・読込・更新・削除) 📦 成果物	🚩 テーマ 簡易アプリ実装 & UI完成 📋 主なトピック - React基礎、シンプルなUI作成 - 外部API連携 (簡易版) - エラー処理の基本 📦 成果物 業務で使えるツール (完成版)	🚩 テーマ 仕上げ & Demo Day 📋 主なトピック - 成果物の最終仕上げ - コードレビュー - Demo Day発表 - 次ステップ共有 📦 成果物 Demo Day発表資料 + 完成業務で使えるツール

⚠️ Week 2・3は実装の核心フェーズとして各9時間を配分。Week 1・4は導入・まとめとして各6時間。合計30時間。

プランB | 受講環境要件

円滑にご受講いただくため、以下の3つの環境要件を満たしているか事前にご確認ください。

PC要件

OS：Windows 10以上 / macOS 13以上

RAM：8GB以上

ストレージ：SSD推奨（空き容量5GB以上）

Webカメラ：必須

マイク：必須（ヘッドセット推奨）

ネットワーク要件

推奨速度：下り・上り各20Mbps以上

有線LAN接続を推奨

Wi-Fiの場合：5GHz帯を使用

テザリング：非推奨

企業ネットワーク：GitHub・Supabase・Vercel
へのアクセス可否をIT部門に確認

ツール・環境要件

Zoom または Google Meet（ライブ授業）

GitHub Codespaces
(ブラウザで開発)

Supabase・Vercel・Claude
(無料プラン可)

Chrome バージョン90以上

静かな個室またはブース環境

 出席率80%以上が人材開発支援助成金の適用条件です。

プランB | 研修事例（ツール開発）

現場の身近な「不」を解消する簡易プロトタイプを、30時間の研修で実装した事例です。
※プランA（16h）とは異なり、よりシンプルな機能実装を目指します

✓ 製造業

社内承認ワークフロー

課題

紙・メールでの承認フロー。進捗が見えず、承認待ちが業務のボトルネックに。

成果

デジタル承認フロー構築。
承認待ち時間を90%削減。

- ✓ ペーパーレス化による業務効率化と意思決定のスピードアップ

📅 サービス業

経費精算自動化

課題

経費申請を手作業で処理。レシート管理が煩雑で、月10時間以上を消費。

成果

OCR連携で自動入力。
月8時間の作業時間を削減。

- ✓ 工数80%削減、従業員のエンゲージメント向上

📅 不動産業

会議室予約

課題

メール・電話での予約調整。重複予約が発生し、会議室の利用効率が悪化。

成果

オンライン予約システム構築。
予約調整工数を70%削減。

- ✓ 稼働率の可視化と最適化、業務負担の軽減

Demo Day & サポート体制

受講者を挫折させず、組織の「成果」へと昇華させるための2つの重要な仕組み



経営層 Demo Day

最終日の成果承認・プレゼンテーション

主な実施内容

経営層へ直接提案（実機デモ実施）
導入効果・コスト削減の試算発表
優秀賞・修了認定の授与

💡 導入の狙い

ただの研修で終わらず、自ら解決した課題と成果物を経営層へ披露し、組織全体で「成果」として承認される場を設けることで、エンゲージメントを高めます。



日次伴走サポート

専門メンターによる徹底フォロー（∞ 即時解決）

主なサポート内容

期間中、毎日・無制限でのSlack対応
技術的エラーの即時解決・コードレビュー
実装相談・壁打ち・挫折防止フォロー

💡 導入の狙い

開発中の「分からない」を即座に解消します。技術的なエラー解決から設計の相談まで、メンターが毎日伴走し、未経験者が直面する実装の壁を取り除きます。

料金体系・助成金シミュレーション

人材開発支援助成金 制度概要

「事業展開等リスキリング支援コース」を活用し、大幅にコストを抑えた導入が可能です。

助成内容

経費助成率（受講料に対する助成）

中小企業： **75%** | 大企業： **60%**

最大： **30万円** | 大企業： **20万円**

賃金助成単価（受講時間に対する助成）

中小企業： **1000円** / 時 | 大企業： **500円** / 時

申請フロー（主な3ステップ）

STEP 1

計画届の提出

※研修開始の1ヶ月前必須



STEP 2

研修の実施

（16時間 or 30時間）



STEP 3

支給申請

※研修終了から2ヶ月以内

⚠ 助成金に関する重要なお知らせ（必ずご確認ください）

本コースは令和8年度末（2027年3月）までの期間限定措置です。

計画届の受付は**支給確定を意味するものではありません**（助成対象の要件審査は支給申請時に一括して実施されます）。

記載の助成額は概算シミュレーションです。確定値および最新の要件については、**必ず所轄の都道府県労働局へご確認ください**。

企業規模別 コスト試算（中小企業）

各プランの1名あたりのコスト試算です。
 助成金を活用することで、実質的なご負担額を大幅に抑えて導入いただくことが可能です。

プラン	定価	経費助成	賃金助成	顧客負担
プランA (16時間)	500,000円	▲ 300,000円	▲ 16,000円	184,000円
プランB (30時間)	410,000円	▲ 300,000円	▲ 30,000円	80,000円

- 「中小企業」とは、資本金または出資の総額が3億円以下、または常時使用する従業員の数が300人以下の企業を指します（業種により基準が異なる場合があります）。
- 本スライドの金額は概算シミュレーションであり、実際の支給額を保証するものではありません。
- 申請に関して、社労士をご依頼頂いた場合、ご紹介させていただきます。その場合、御社と社労士で別途、契約となります。費用は上記金額には含まれておりません。
- 利用するAIツールに関しては、別途御社にて契約していただく形となります。

企業規模別 コスト試算（大企業）

各プランの1名あたりのコスト試算です。
助成金を活用することで、実質的なご負担額を大幅に抑えて導入いただくことが可能です。

プラン	定価	経費助成	賃金助成	顧客負担
プランA (16時間)	500,000円	▲ 200,000円	▲ 8,000円	292,000円
プランB (30時間)	410,000円	▲ 200,000円	▲ 15,000円	195,000円

※ボリュームディスカウントあり

- i 「大企業」とは、資本金または出資の総額が3億円以上、または常時使用する従業員の数が300人以上の企業を指します（業種により基準が異なる場合があります）。
- i 本スライドの金額は概算シミュレーションであり、実際の支給額を保証するものではありません。
- i 申請に関して、社労士をご依頼頂いた場合、ご紹介させていただきます。その場合、御社と社労士で別途、契約となります。費用は上記金額には含まれておりません。
- i 利用するAIツールに関しては、別途御社にて契約していただく形となります。

外注依存との長期コスト比較

外注依存から脱却し、社内に「資産」を積み上げる

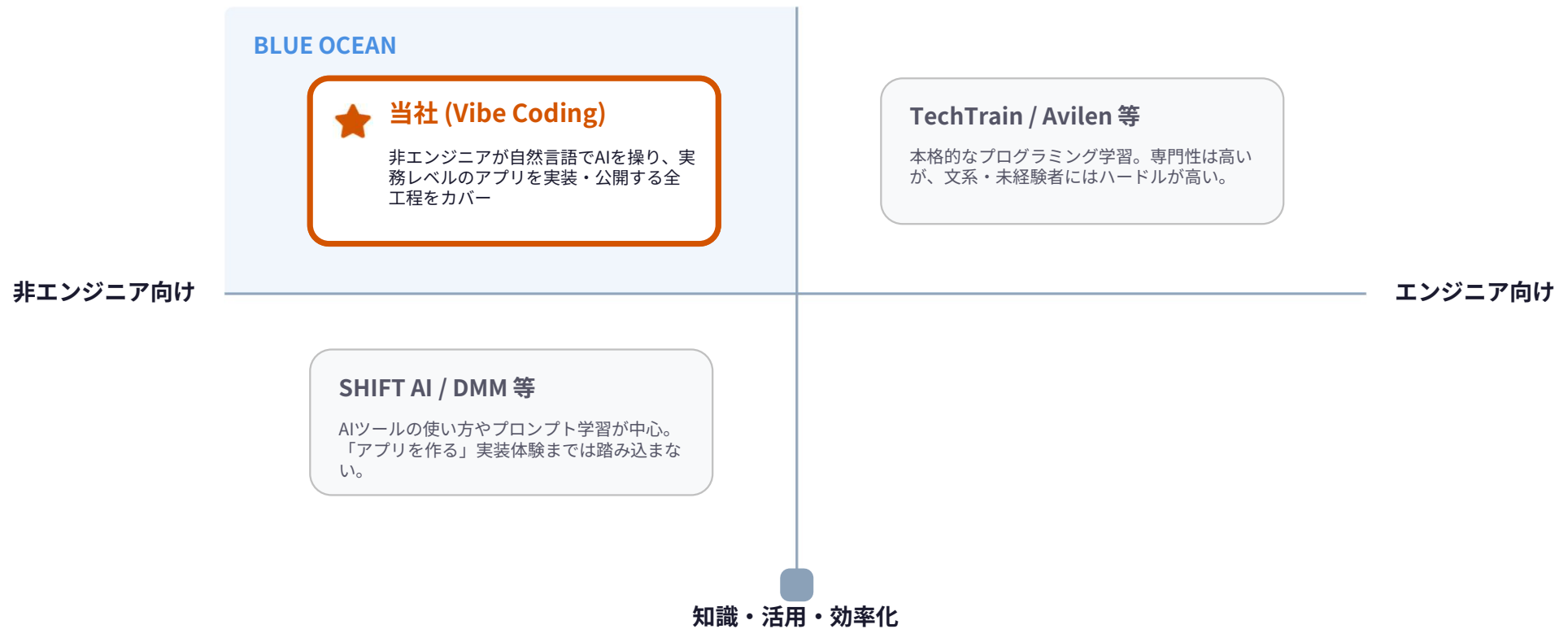
比較項目	従来：外注ループ	提案：Vibe Coding
アプローチ	一時的な解決 (その場しのぎの対応)	継続的な内製化・改善 (根本的な組織変革)
ナレッジ・資産	外部へノウハウ流出 (ブラックボックス化)	社内にナレッジ蓄積 (組織資産の最大化)
依存度・運用	依存の深化・硬直化 (ベンダーロックイン)	自走可能な運用体制 (自律的な改善サイクル)
コスト構造	永続的なコスト増 (都度見積もり・保守費)	長期的コスト削減 (投資対効果の向上)
課題解決力	現場と乖離した仕様 (使いにくいツール)	現場発の課題解決 (実用性の高いツール)

競合比較・差別化ポイント

競合ポジショニングマップ

競合は多い。だが、“非エンジニア × 実装”の領域は空白（ブルーオーシャン）です

実装・開発・成果物



当社が選ばれる3つの理由 & 導入効果

競合他社にはない独自価値と、組織に変革をもたらす3つの成果

当社が選ばれる理由は3つだけ

01

非エンジニアでも 「動くもの」を作る

座学や部分的なコード学習ではなく、アイデアから設計、実装、デプロイまでを一気通貫で完遂する実践的なカリキュラムです。

02

16時間・30時間の 濃密Bootcamp

90分の体験学習とは次元が違う「没入感」。1ヶ月間（計16時間or30時間）の集中投下で、思考回路とスキルを根本から変革します。

03

HR設計で 自己効力感と定着

最終日の「Demo Day」で経営層へ直接プレゼンし、組織からの承認を得ることで、ただの研修で終わらせない定着を図ります。

導入効果：組織を変える3つの成果

生産性向上

実務課題をテーマに開発を行うため、終了時には「現場で使えるツール」が完成。外注に頼らず自社社員の手で業務効率化を実現し、即座にコスト削減とスピードアップに貢献します。

✓ 実務効率化・コスト削減

40代～の価値向上

長年のビジネス経験を持つ層がAI構築力を獲得することで、業務理解に基づいた crystallized DXが可能に。個人の市場価値が飛躍的に向上し、社内での活躍のフィールドが大きく広がります。

✓ ミドルシニアの戦力化

若年層・企業成長

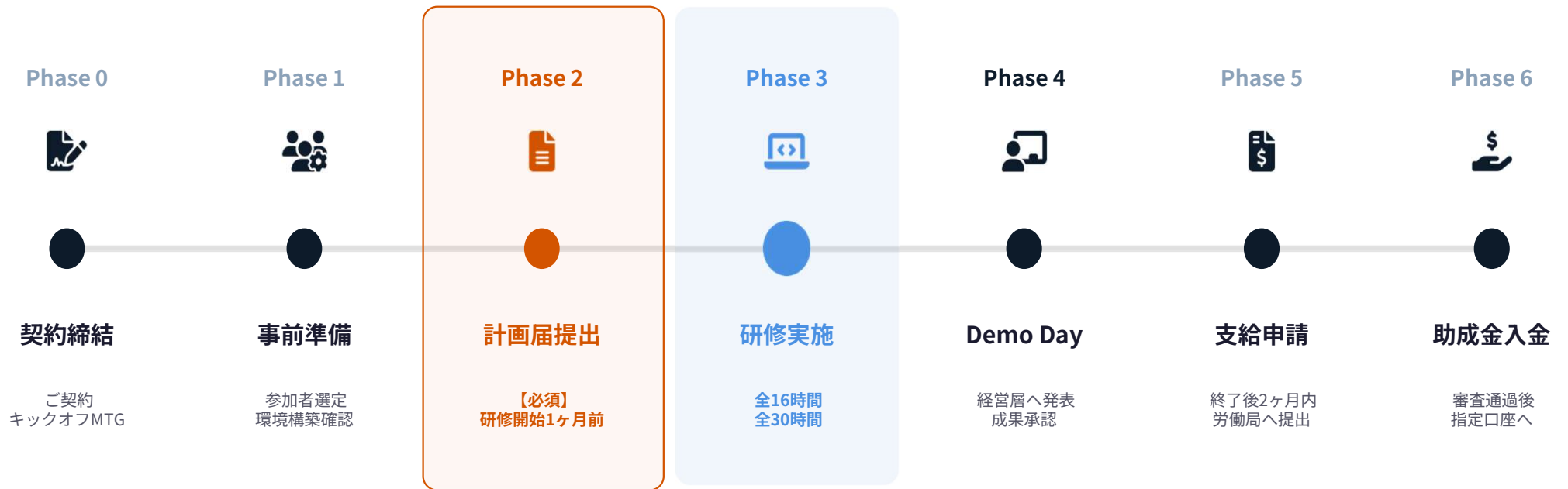
先進的なAI教育カリキュラムの導入は、優秀な若手人材への強力なアピールとなり採用力が向上。個人の労働生産性を高めることで、結果として全社の利益率改善へと直結します。

✓ 採用ブランディング・高収益化

導入後の全プロセス

全体ロードマップ

小さく始めて確実に成功モデルを作るための、導入から助成金受給までの全7フェーズ



Phase 0～1 | 契約・事前整備

プログラムをスムーズに開始するための初期設定と環境構築

貴社タスク

✓ 契約締結

秘密保持契約（NDA）および業務委託契約の締結を行います。

✓ 参加者選定

部門横断で意欲ある社員（最大10名）の選抜と参加打診を行います。コア人材の選出を推奨します。

✓ 情シス確認

情報システム部門と連携し、社内セキュリティ基準の確認と開発環境（サンドボックス等）の利用許諾を得ます。

+

当社サポート

契約書準備

ご契約に必要な各種ひな形の提供と、貴社法務要件に合わせた条項調整のサポートを行います。

キックオフMTG

経営層・参加者向けの説明会を実施し、プログラムのゴールと期待される成果を全体で共有します。

環境構築支援

開発に必要なAIツール（Claude等）やインフラのセットアップ手順を提供し、スムーズな導入を支援します。

Phase 2 | 計画届の提出

助成金受給に向けた最重要プロセス：期限と必要書類のご案内



期限：研修開始の「1ヶ月前」までに提出必須

※この期限を1日でも過ぎた場合、例外なく助成金の対象外となります。社内稟議や書類準備の期間を考慮し、余裕を持ったスケジュールをご計画ください。

📄 主な必要書類リスト

訓練実施計画届（所定様式）

研修の目的や対象者、実施期間などを記載します。

訓練カリキュラム・シラバス

※当社から指定のフォーマットをご提供いたします。

就業規則または労働条件通知書

受講者の雇用形態や所定労働時間を確認するための書類です。

企業規模を証明する書類

登記事項証明書など（中小企業枠での申請の場合）。

🏢 提出先とサポート体制

【提出先】

貴社管轄の都道府県労働局

※ハローワークではありませんのでご注意ください。

当社のサポート内容

初めての申請でも迷わず進められるよう、記載例やカリキュラム資料等、必要なテンプレート一式をご提供します。

- ✓ 提出書類フォーマット提供
- ✓ 記載方法のアドバイス

Phase 3~4 | 研修実施・Demo Day

48時間の集中開発と、経営層への成果発表（Demo Day）を通じた組織変革の実現

貴社タスク



参加者の出席管理

研修期間中の受講者の参加状況を把握し、助成金申請に必要な出席簿の管理をお願いします。



経営層のスケジュール確保

最終日のDemo Dayにおいて、審査員としてご参加いただく経営層・部門長の日程確保をお願いします。



社内フィードバック

Demo Dayで発表された成果物に対し、実務導入に向けた建設的なフィードバックと承認を実施していただきます。

+

当社サポート



研修実施

全48時間のカリキュラムを提供。プロのメンターが、座学ではなく「実装」に特化した実践的な指導を行います。



日次Slackサポート

エラー解決から設計の壁打ちまで、研修期間中は毎日Slackで無制限にサポート。受講者の挫折を完全に防ぎます。



Demo Day運営

成果発表会の進行、審査基準の提供、表彰（優秀賞・認定）の運営まで、効果的なイベントの実現をフルサポートします。

Phase 5～6 | 支給申請・入金

研修完了後、助成金を受け取るための最終手続き



期限：研修終了の「翌日から起算して2ヶ月以内」に提出必須

※期限を1日でも過ぎると助成金は支給されません。当社もサポートいたしますので、速やかなご準備をお願いいたします。

貴社タスク

支給申請書類準備

支給申請書や、受講者の賃金支払い・出勤状況を証明する書類（賃金台帳、出勤簿など）、経費の領収書等を準備・整理していただきます。

労働局への提出

準備が完了した書類一式を、期限内に管轄の都道府県労働局へ提出（郵送または電子申請）していただきます。

+

当社サポート

申請書類テンプレート提供

当社側で発行が必要な「受講証明書」や、記入例を含む各種フォーマット・テンプレートを研修終了後速やかにご提供します。

記載方法サポート

複雑な申請書類も迷わず作成できるよう、記載方法のアドバイスや、必要な添付書類の確認などのサポートを実施します。

お問い合わせ先

株式会社CBIT

電話： 03-5298-2020（平日 10～17時）

メール： sales@cbit.co.jp

公式サイト： <https://cbit.co.jp>

担当： ビジネスソリューション事業部 クラウド＆アライアンス部
担当 河辺/杉本

**AI活用を組織の力へ変える人材育成パートナーとして、
貴社をご支援いたします。**
